

委員会

産建文教

企業誘致に積極的に取り組む

6月15日本委員会を開催し、白鷹町土地開発公社と(財)白鷹町アルカディア財団の経営状況の報告を受けその後、

・鮎貝まちづくり事業の状況

・産業振興課関連事業

・小中学校再編整備

・中央公民館、図書館の整備

・荒砥高校総合学科改編の準備状況

などについて所管事務調査を行いました。

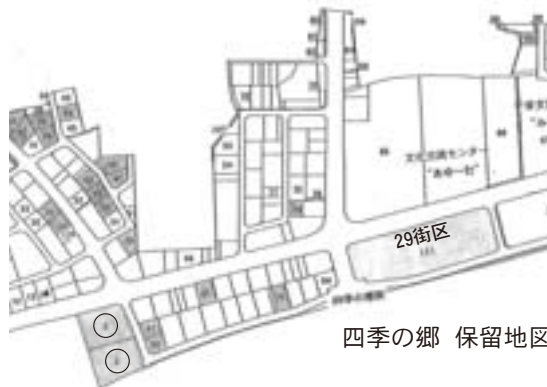
委員から、鮎貝土地区画整理地内の29街区、2と3番の保留地の町の対応を問われ、「29街区は企業誘致すること町が購入。2と3番は公共用地として来年度まで購入する計画で対応したい。」との答弁がありました。

・鮎貝まちづくり事業の状況
保留地処分

販売実績 計53

金額 7億2287万円
残区画 計43
金額 2億8018万円

土地の用途変更を行い、企業誘致に積極的に取り組んで行く。



四季の郷 保留地図

・中央公民館図書館の整備
中央公民館棟リニューアル計画の概要は、建物の耐震化と一階に図書館を配置エレベーターを完備し三階を大会議室にするほかライブラインの改修などを

もので、総事業費5億7千万円の計画

・荒砥高校総合学科改編の準備状況

総合学科に改編し、就職や進学のいずれにも対応できる系列を設置し、主体的な科目選択により、意欲的に学習に取り組む生徒を育成するなどのことが、各担当課から説明がありました。



地域の学校として 荒砥高等学校